

お知らせ

## 平成30年度土木学会賞候補 (研究業績賞、論文賞、論文奨励賞)の募集

平成30年度土木学会賞候補(研究業績賞、論文賞、論文奨励賞)の募集をいたします。

表彰規程および募集要項をご参照のうえ、ご応募されますようお願いいたします。

平成30年度より、論文奨励賞の対象年齢を満40歳未満と変更いたしました。

推薦書(応募)用紙は、本会ホームページから入手できます。

なお、土木学会賞候補(研究業績賞、論文賞、論文奨励賞)は、同一の方が同一の候補に対して、2以上の各賞に推薦または応募されることは認められません。また、別々の方が同一の候補に対して、2以上の各賞に推薦または応募された場合は、推薦(応募)者間で相互に調整していただきます。

研究業績賞、論文賞、論文奨励賞および環境賞以外の土木学会賞募集は、例年どおり、土木学会誌10月号でご案内する予定です。

### 土木学会表彰規程 第7条より 【研究業績賞、論文賞および論文奨励賞】

- (1) 研究業績賞は、原則として、土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に発表した研究、計画、設計、施工、考案、維持管理などに関する一連の論文等の業績により、土木工学における学術・技術の進歩、体系化に顕著な貢献をなしたと認められる個人に授与する。
- (2) 論文賞は、原則として、土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案、維持管理などに関する論文を発表し、独創的な業績を挙げ、これが土木工学における学術・技術の進歩、発展に顕著な貢献をなしたと認められる論文の著者に授与する。ただし、候補論文は単一の論文とする。
- (3) 論文奨励賞は、原則として、土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案、維持管理などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術・技術の進歩、発展に寄与し、独創性と将来性に富むものと認められた若手研究者で、受賞者の年齢が受賞年の4月1日現在で満40歳未満である者に授与する。ただし、候補論文は候補者が筆頭著者の単一の論文とする。

#### 部門内容

I	応用力学、構造工学、設計論、鋼構造、複合構造、地震工学、耐震構造、風工学、維持管理工学、等
II	水理学、環境水理学、水文学、河川工学、水資源工学、海岸工学、港湾工学、海洋工学、等
III	土質力学、基礎工学、岩盤工学、土木地質、地盤環境工学、鉄道軌道(バラスト)・路盤、道路路床路盤、等
IV	土木計画、地域都市計画、国土計画、交通計画、交通工学、鉄道工学、景観・デザイン、土木史、測量・リモートセンシング・空間情報、交通現象分析、心理・行動分析、等
V	土木材料、舗装工学、コンクリート工学・コンクリート構造、木材工学、等
VI	建設事業計画、設計技術、積算・契約・労務・調達、施工技術、環境影響対応技術、維持・補修・保全技術、建設マネジメント、等
VII	環境計画・管理、環境システム、環境保全、用排水システム、廃棄物、大気汚染、水環境、土壌環境、環境生態、等
VIII	技術者教育、教育実践、教育企画、人材育成、生涯教育、継続教育、男女参画教育、産業界教育、倫理教育、学校教育、組織内教育、等

## 募集要項

種別項目	研究業績賞・論文賞および論文奨励賞
選考対象	<p><b>【研究業績賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として、土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案、維持管理などに関して発表された一連の論文等において、これが土木工学における学術・技術の進歩、体系化に顕著な貢献をなしたと認められる個人の研究業績。</li> <li>なお、本年度は、第I部門、第II部門、第III部門における業績を対象とする。</li> </ul> <p><b>【論文賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として、土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案、維持管理などに関して発表された論文において、独創的な業績をあげ、これが土木工学における学術・技術の進歩、発展に顕著な貢献をなしたと認められる単一の論文。</li> <li>過去に論文奨励賞を受賞した論文で論文賞の選考対象になることはできない。</li> </ul> <p><b>【論文奨励賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>原則として、土木学会誌、土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案、維持管理などに関して発表された論文において主要な役割をなし、これが土木工学における学術・技術の進歩、発展に寄与して、独創性と将来性に富むものと認められた若手研究者。</li> <li>年齢が平成31年4月1日現在で満40才未満の者であり、候補論文は選考対象が筆頭著者の単一の論文とする。</li> <li>過去に論文賞を受賞した論文で論文奨励賞の選考対象になることはできない。</li> </ul>
受賞主体	<p><b>【研究業績賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>受賞主体は、一連の業績をあげた個人に限る（本会会員資格の有無を問わない）。</li> <li>過去に研究業績賞を受賞した者は、再び受賞主体となることはできない。</li> </ul> <p><b>【論文賞・論文奨励賞】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>論文賞の受賞主体は、著者全員とする（本会会員資格の有無を問わない）。</li> <li>論文奨励賞の受賞主体は、個人に限る（本会会員資格の有無を問わない）。</li> <li>過去に論文賞を受賞した者は再び受賞主体となり得るが、論文奨励賞を受賞した者は再び論文奨励賞の受賞主体になることはできない。</li> </ul>
選考の範囲	<p><b>【研究業績賞】</b></p> <p>複数年（10年間程度）にわたって継続的に発表されている論文等5編で、原則として土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたものに限る。ただし、関連する業績リストを添付してよい。</p> <p>対象論文は選考対象者が筆頭著者のものに限らないが、共著の論文を選考対象とする場合には、その個人の業績全体に対する貢献度を示すとともに、共著者の同意書を提出する。また、過去に他の土木学会賞を受賞した論文については、これを選考対象論文としてよい。</p> <p><b>【論文賞・論文奨励賞】</b></p> <p>平成28年10月1日から、平成30年9月30日までの間に発表されるもので、原則として土木学会論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたものに限る。ただし、研究の経緯等で必要な場合は、過去4年以内に発表された論文（土木学会関係に限定）を2編まで参考論文にすることは認められる。</p>
応募の方法	<p><b>【研究業績賞】</b></p> <p>推薦または自薦による。 推薦者は正会員（個人）とする。 応募に必要な以下の提出物について印刷したもの1部とPDFファイル1個を提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①別に定める様式による推薦書</li> <li>②推薦論文等5編（別刷またはコピー可）</li> <li>③貢献度を示す資料</li> <li>④共著者の同意書</li> <li>⑤その他、推薦者が審査にあたって必要と思われる資料</li> <li>⑥上記①～⑤のPDFファイルはCDまたはDVDにより提出する。</li> </ol> <p><b>【論文賞・論文奨励賞】</b></p> <p>推薦または自薦による。 推薦者は正会員（個人、法人）、および特別会員とする。 応募に必要な以下の提出物について印刷したもの1部とPDFファイル1個を提出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①別に定める様式による推薦書</li> <li>②推薦論文（別刷またはコピー可）</li> <li>③その他、推薦者が審査にあたって必要と思われる資料</li> <li>④上記①～③のPDFファイルはCDまたはDVDにより提出する。</li> </ol>
審査	論文賞選考委員会において行う。
表彰	定時総会において行い、賞状、賞牌を贈る。
締切期日	平成30年9月28日（金）（必着）
提出先	〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目（外濠公園内） 公益社団法人土木学会 論文賞選考委員会 TEL：03-3355-3442 / FAX：03-5379-0125